

# 西部CSだより



西部コミュニティ・スクールは、「子どもの夢や未来をみんなで支えよう」西部の伝統を生かして子ども達の「チャレンジする心を育てる」という目標をひとつにし、学校・家庭・地域が連携して子ども達を育てる取り組みをしています

臨時号

令和5年11月6日発行

文責 西部CS運営委員会事務局

## CS アンケートの結果と分析

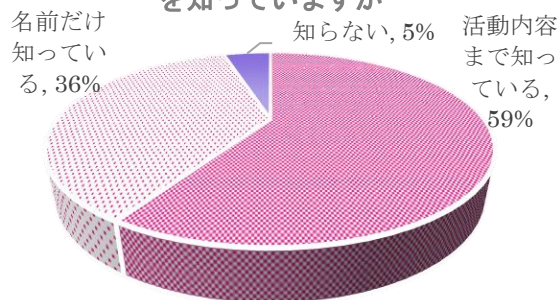
西部コミュニティ・スクールの活動の改善を図るために毎年行われているCSアンケートですが、今年度も10月20日～10月31日まで、小中学校の全保護者を対象に実施しました。175件（回収率73%）ものご回答をいただき、御協力に心から感謝申し上げます。今年度も基本的にどの項目においても評価が高く、西部コミュニティ・スクールの活動が多く保護者に浸透し、支持を受けていることがわかります。昨年度はアンケートの結果や西部CS各部の反省を踏まえ、地域コーディネート部の名称を地域安全部に変更したり、数学検定の要望にお応えしたりと改善を図っています。今年度も、西部小中学校の子どもたちのために何ができるのか考えていきたいと思っております。

### <CSの認知に関わって>

○西部コミュニティ・スクールの活動は年々周知が進んでいるものの活動内容までの周知が6割にとどまっています。

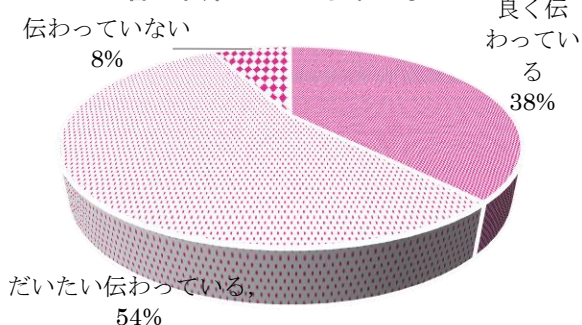
○CSだより、学校だより等の広報活動が評価されているので一層の充実を図ります。

1. コミュニティ・スクール（CS）を知っていますか



□「1、コミュニティ・スクールを知っていますか」では、「活動内容まで知っている」と答えた保護者が59%（昨年度66%）と微減しました。名前だけ知っていると合わせると95%周知されているもの、活動内容の周知についてあらためて対策を練る必要があります。

2. 学校だより、CSだより、CSのホームページなどからCSの活動内容が伝わっていますか。



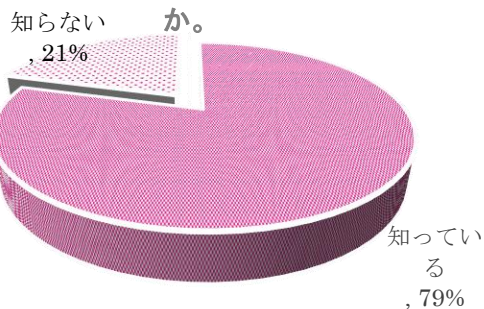
□「2、学校だより、CSだより、CSのホームページなどからCSの活動内容が伝わっていますか？」では、「よく伝わっている」「だいたい伝わっている」を合わせると、92%と非常に高い評価であり、この3つの広報活動について評価されているのがわかります。また、補足質問では、特にCSだより（79%）学校だより（66%）によって活動内容が伝わっていると回答がありました（複数回答可）。

□「3、どのような方法があったらCSの内容が伝わるとお思いますか」では、「SNS」の回答もありましたが、「参加することが一番だ」という意見があり、様々な活動への参加の呼びかけを強化していきます。

## <「あいさつ運動」「西部っこサポート隊」について>

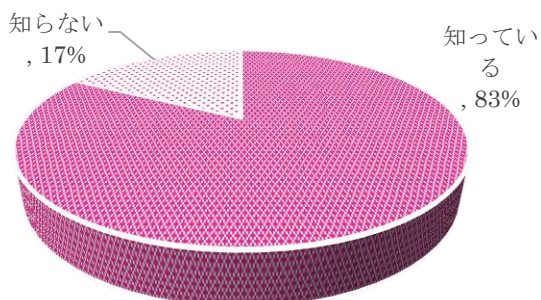
- 「CS 地域あいさつ運動」「西部っこサポート隊」のどちらも約8割の保護者が知っており、CS の取組として根付いてることがわかります。
- 「協力したい」という割合は昨年度より増えているものの、協力できない現状もあり、内容、時期、募集方法等で工夫する必要があります。

### 4. 月初めに「CS地域あいさつ運動」をおこなっていることを知っていますか。



□昨年度同様、「CS 地域あいさつ運動」の周知度は79%と非常に高い結果が出ています。知ってはいるものの仕事等でなかなか参加できない現状があることがご意見によってわかります。

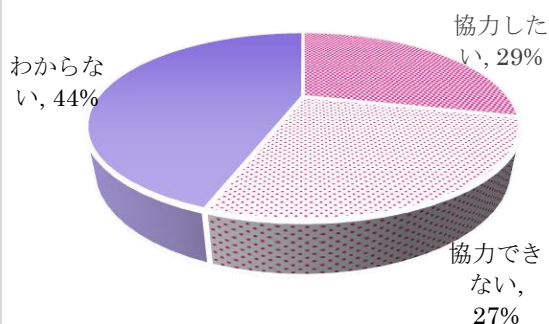
### 5. 「西部っこサポート隊」という放課後学習会、漢字検定、スキー指導等の授業のサポートボランティアを募集していることを知っていますか。



□「5、『西部っこサポート隊』という授業のサポートボランティアを募集していることを知っていますか」では、83%（昨年度81%）が「知っている」と回答しています。わずかですが昨年度よりも周知が進んでいることがわかります。

現在、西部っこサポート隊として、漢字検定や数学検定の試験監督、スキー指導補助員、のこぎり使用の授業、書写授業等でご支援をいただいています。また、CS 学校支援部の委員の方々に今年度は小学校の学芸発表会で、照明やアナウンス、音響などの手伝いをさせていただき、学校にとって大変ありがたい支援となりました。今後も御協力いただける内容等ありましたらぜひお知らせください。

### 6. 「西部っこサポート隊」として、支援や協力をしたいと思いますか。



□「6、西部っこサポート隊として、支援や協力をしたいと思いますか」では、「協力したい」と答えた人は29%（昨年度27%）と昨年度に比べると上昇している一方、「協力できない」と答えた割合も27%（昨年度25%）と微増しており、内容、時期、募集方法等で工夫が必要と思われます。

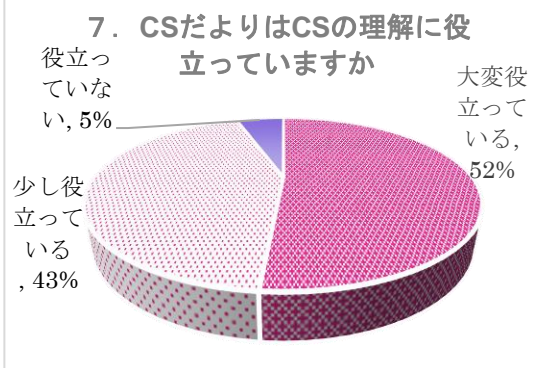
今後も御協力いただける時だけでかまいませんので、多くの方の支援を賜ることができれば幸いです。

## <あいさつ運動等に関わるご意見>\*抜粋

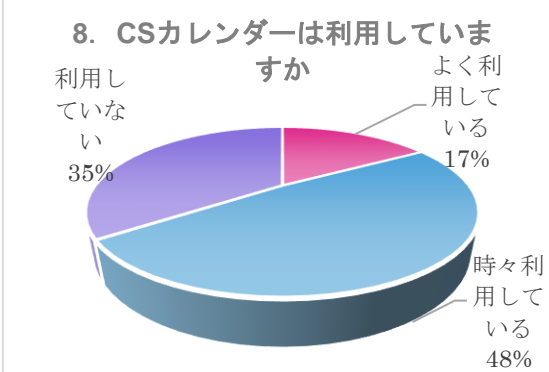
- ・地域としては、ひとこと挨拶を交わす、登下校を見守るなど、日々ほんの少しでも子供たちと関わり合いを持てると良いかと思えます
- ・日頃、道で出会った時の挨拶など、地域の皆に見守られていると思ってもらえるような、子供達が安心感をもてるような環境づくりができるの良いなと思えます。

## <広報に関わって>

OCS 広報部の皆さんの努力や工夫により「CS だより」の評価が非常に高いです。OCS カレンダーについては、内容等を検討し改善を図る検討を行います。ホームページやメールでのカラー版の掲載・添付を進めます。



□「7, CS だよりは CS の理解に役立っていますか」では、「大変役立っている」と52%（昨年度50%）が答えており、「少し役立っている」も含めると95%を超えており、CS だよりの評価は昨年度に引き続き高いことがわかります。



□「8, CS カレンダーは利用していますか」では、「よく利用している」は17%（昨年度13%）にとどまり、「利用していない」と答えた人の割合も35%（昨年度37%）と依然として多くなっています。ただ63%は利用していると回答しており、内容等の改善の検討を行うものの継続して発行すべきものと捉えています。

## <今後どんな活動ができるか・記述式>

○学校と地域のつながりこそが、子どもの成長を促し、平和で安全なコミュニティづくりに欠かせないものだととらえられていることがわかります。

○OCS 数学検定や CS 漢字検定についてご意見をいただきましたが、参加人数が少ない課題もあります。決められた日程の中ですが、工夫して設定、募集をしていきます。

○登下校の様子でご指摘がありました。学校でも指導をして参りますので、ご家庭でも交通安全について今一度お声かけをよろしくお願い致します。

## <ご意見>\*抜粋

- ・地域としては、ひとこと挨拶を交わす、登下校を見守るなど、日々ほんの少しでも子供たちと関わり合いを持てると良いかと思えます。
- ・私達にできることは各行事での無理のない範囲での協力かなと思えます。各家庭の様々な事情も考慮しつつ小さな事でも出来ることから参加しやすい体制作りなのではないかと思えます。
- ・やはり大人の目が沢山あちこちにあるのが望ましく、かつての昭和の時代のお節介おじさんみたいに我が子のみではなく地域の子どもを見守る気持ちと姿勢があると良いと思えます。
- ・親世代だけでなく中学校を卒業した若者が参加できる地域活動があるとより活気づくし、子供達にとっても近い将来の不安や進路の参考になるのではないかと思うことがあります。
- ・子供達を中心に学校と地域が何かしらの繋がりを保つ事で、永続的な子供達への支援ができると思えます。また、学校と地域が協力している姿勢そのものが、子供達の学びの環境を整えたり、見守られている安心感に繋がっていると感じます。

- ・要望を一点。3学期の1月末に行われる英語検定と漢字検定の日程が大変近いため、準備期間を考慮して一方の受験を諦めております。何れも上級になるほど準備期間も必要となるため、各検定の日程をもう少しずらして設定して頂けると助かります。今年度より算数検定を実施して頂いたことについては、大変感謝しております。
- ・子供の数が減っている今、地域としての様々な関わりでCSの良さが発揮できる時だと思えます。
- 小中の登下校をみると、残念ながら中学生の方が道路の真ん中まで広がって歩くなど悪くなっています。小学生はもちろんです、中学生への交通指導が必要なのでは、といつも感じています。車は急に止まれないことはもちろん、秋になると日が落ちるのが早くなり、車から見えずらくなることも含め指導出来る機会があればと感じます。

### <CS導入によって変化したこと・記述式>

OCSの活動を通して、地域と学校が結びつくことの意義を記述していただきありがとうございます。今後も地域と学校が密接に関わり合い、子どもの成長を支援していきたいと思います。

○あいさつが良くなったという評価が多くある一方で、最近子どもの方からあいさつをしない子が増えたと感じている人もおり、あいさつ運動を継続するだけでなく、様々な場面であいさつの大切さを伝えていきます。

### <ご意見>\*抜粋

- ・子供の数が減り、かつ共働き世帯が増えている世情のなか、西部地区の地域と学校の連携をこれからも絶やすことなく続いて欲しいし、続けなければならないと感じます。それをいかにして若い世帯に理解してもらうか、それが課題なのかな、と感じます。
- ・元々挨拶の盛んな地域であったと思いますが更に皆さんが挨拶してくれるようになったと思います。西部っこサポート隊で出会った方のお話を教えてくれたりするので子供達も喜んでいきます。
- ・一番強く感じるのは携帯電話とゲーム機の普及により遊びも変わり生活習慣も変わってしまい外で遊んだり友達とワイワイ遊ぶ姿も声もなくなったのが淋しいです。
- ・学年、年齢を問わず、地域の人とも交流があり、安心のできるコミュニティができていると思います。
- ・しっかり挨拶が出来る。地域内の絆のような感じで、防犯にもつながると思います。
- ・CS活動を通して常に学校と地域が繋がっているので、自分の子供が卒業しても学校との関わりが途切れません。その関係性が地域の活性化に繋がり、子供達にも良い影響があると感じています。
- ・学芸会にも協力いただくなど、児童数減少などその時の課題に応じて活動を変化させて、子どもたち、学校の支えとなっている。
- ・挨拶が良くなった。(同様の意見多数)
- 昔は子供たちから挨拶をしてくれたけど、今は私から挨拶をしないと子どもたちは無視…。淋しいですね…

発行 西部CS事務局 (北広島市立西部中学校内)

〒061-1268 北広島市輪厚中央1丁目12-1 ☎011-376-2252 📠011-376-2292